



平成 30 年 2 月 9 日

各 位

会 社 名 リリカラ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 山 田 俊 之
(コード番号 9 8 2 7)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取締役専務執行役員 佐藤伸男
電 話 0 3 - 3 3 6 6 - 7 8 4 5

特別損失の計上及び平成29年12月期の業績予想と実績値との 差異に関するお知らせ

平成29年12月期（平成29年1月1日～平成29年12月31日）において、下記の特別損失の計上を行うとともに、平成29年2月10日に開示した平成29年12月期の業績予想と実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 特別損失の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、平成29年12月期（平成29年1月1日～平成29年12月31日）において、次の減損損失を計上しております。

インテリア事業の一部使用資産について、将来の回収可能性を検討した結果、減損損失を398百万円計上しております。

2. 平成29年12月期業績予想と実績値の差異

(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	34,500	320	230	60	円 銭 4.88
今回実績 (B)	33,074	104	41	△327	△27.62
増減額 (B - A)	△1,425	△215	△188	△387	
増 減 率 (%)	△4.1	△67.4	△81.9	—	
(ご参考) 前期実績 (平成28年12月期)	32,988	138	79	126	10.32

3. 差異の発生理由

平成29年12月期における当社の業績につきましては、インテリア業界において重要な指標である新設住宅着工戸数が対前年比で低迷を続ける等、経営環境に改善が見られず、インテリア事業の売上高が予想を下回ったことを主因として、売上高、営業利益、経常利益は予想より減少いたしました。

また、当期純利益は、特別損失として、インテリア事業の一部使用資産について、将来の回収可能性を検討した結果、減損損失を398百万円計上したことから予想より大幅に減少し、当期純損失の計上となりました。

以 上